



漢方薬にとって生薬とは

共通する生薬は?

小青竜湯 麻黄 芍薬 乾姜 甘草 桂皮 細辛 半夏 五味子

| 黄芩 | 桔梗 | 桑白皮 | 杏仁 | 山梔子 | 天門冬 | 貝母 | 陳皮 | 大棗 | 竹筎 | 茯苓

| 当帰 | 生姜 | 麦門冬 | 甘草 | 五味子 |

清暑益気湯 人参 蒼朮 麦門冬 当帰 黄耆 陳皮 甘草 黄柏 五味子

人参養栄湯 人参 当帰 芍薬 地黄 白朮 茯苓 桂皮 遠志 黄耆 陳皮 甘草 五味子

SHOWA University

五味子

つる性の低木 晩夏に赤い果実を付ける

Schisandra chinensis Baillon

チョウセンゴミシ マツブサ科



チョウセンゴミシの果実

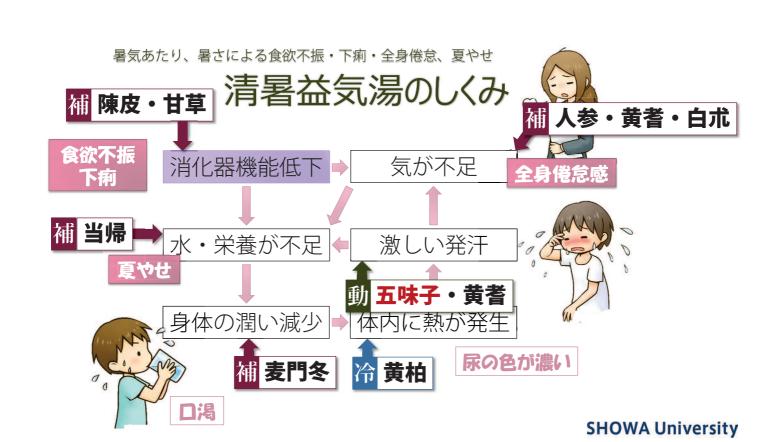


チョウセンゴミシ

わが国の「食薬区分」では「専ら医薬品」 韓国では食品として販売される







五味子の働き

五味子は水分の分泌を抑え、咳を止める働きがある

小青竜湯 麻黄 芍薬 乾姜 甘草 桂皮 細辛 半夏 五味子 鼻水を抑える

 清肺湯
 黄芩
 桔梗
 桑白皮
 杏仁
 山梔子
 天門冬
 貝母
 陳皮
 大棗
 竹筎
 茯苓

 当帰
 生姜
 麦門冬
 甘草
 五味子
 痰を抑える

清暑益気湯 人参 蒼朮 麦門冬 当帰 黄耆 陳皮 甘草 黄柏 五味子 発汗を抑える

人参養栄湯 人参 当帰 芍薬 地黄 白朮 茯苓 桂皮 遠志 黄耆 陳皮 甘草 五味子

咳と痰を抑える

SHOWA University

漢方薬と生薬の関係は?

漢方薬は生薬の協働により実現さ れている

漢方薬の品質は生薬の品質と直結 している



品質を考える

SHOWA University

The Japanese Pharmacopoeia

日本薬局方(局方/JP)



- 医薬品の規格・品質に関する公定書(厚生労働省令)
- 1886年に成立し、5~10年に一度改訂される
 - ◇ 現在は第18改正
- 全ての医薬品が収載されているわけではない
 - ♦ 約2,000品目収載
- **生薬**や**漢方薬エキス**も収載されている



192品目の生薬を収載

実際の日本での利用は300品目程度

安定性

局方による担保

有効性

安全性

ゴミシ

Schisandra Fruit SCHISANDRAE FRUCTUS

五味子

本品はチョウセンゴミン Schisandra chinensis Baillon (Schisandrucsse)の果実である。

生業の性状 本島は不規則な求形・扁球形を呈し、径約6 mm である。外面は暗素色〜黒褐色でしわがあり、また。ときに 白い物を付ける。様子は腎臓形を呈し、外面は黄褐色へ暗赤 褐色で、艶があり、背面に明らかな容器を認める。外種皮は たやすく剥がれるが、内種皮は豚乳に密着する。

本品は動いにおい及び酸味があり、後に彼くて苦い。

確認試験 本品の粉末1.0 gにメタノール10 mLを加えて木浴上で6分間板り提定ながら加温し、冷後、ろ響力、ろ減を対料溶液とする。別に薄面クロマトグラフィー用シザンドリン1 mgをメタノール1 mLに溶かし、標準溶液とする。これらの液につき、薄層クロマトグラフィー (2の) により試験を行う。数料溶液及び標準溶液5 pLずつを薄面クロマトグラフィー用シリカがル(新光列入り)を用いて調製した湯列板にスポットする。次に酢酸ニチルノヘキサンノ酢酸(100)洗液(10・10:1)を関係容様として約7 cm展開した後、滞層板を駆棄する。これに紫外線に大阪254 mm)を照射であたまた紫外線でありまります。

執度試験 異物(5.0) 本品は果床、果柄及びその他の異物 1.0%以上を含まない。

灰分 (5.0) 5.0%以下。 貯法 容器 密閉容器。

SHOWA University

生薬の品質とは

安定性

局方による担保

カンゾウ

Glycyrrhiza

GLYCYRRHIZAE RADIX

70

本品は Glycyrrhiza uralensis Fischer 又は Glycyrrhiza glabra Linné (Leguminosae)の根及びストロンで、ときに は周皮を除いたもの(皮玉りカンメウ)である。

本品は定量するとき、機算した生薬の乾燥物に対し、グリ チルリチン酸(C₁₂H₈₀O₁₈: S22.93) 2.0%以上を含む.

生業の性状 本品はほぼ円柱形を呈し、径0.5~3 cm、長さ1 m以上に及ぶ、外面は暗褐色~赤褐色で縦じわがあり、しば しば皮目、小事及び鱗片葉を付ける。固皮を除いたものは外 面が欲黄色で繊維性である。横切面では、皮部と木部の境界 がほぼ明らかで、放射状の構造を現し、しばしば放射状に裂 け目がある。ストロンに基づくものでは鱧を認めるが、根に 基づくものではこれを認めない。

本品は弱いにおいがあり、味は甘い、

本品の横切片を競験 (5.0) するとき、黄巻色の多細胞層のコルク層とその内側に1 ~ 3細胞層のコルク皮層がある。二次皮層には放射組織が師部と交互に放射状に配列し、所部には厚壁で木化不十分な師部繊維罪があり、その間間に結晶細胞が認められる。馬皮を除いたものでは二次皮層の一部を欠くものがある。本部には黄色で巨大な道管の列と3 ~ 10 細胞列の放射組織が交互に放射状に配列する。道管は結晶細胞分の放射組織及び木部柔細胞を伴う。ストロンに基づくものでは柔細胞性の髄がある。柔細胞はでんぶん軟を含み、また。しばしばシェリ酸カルシウムの単晶を含む。一般切片の鏡検 (5.0) では、師部繊維又は木部繊維の周囲の結晶

SHOWA UNIVERSITY

安定性

局方による担保



十分?

有効性

(安全性)

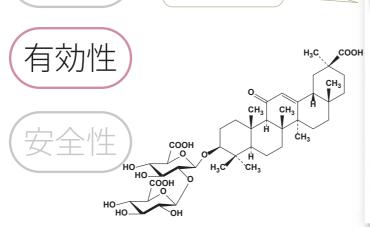
メーカーの自主的な基準

SHOWA University

生薬の品質とは

安定性

指標成分が必ず しも有効成分と は限らない



グリチルリチン酸の多い 甘草は品質のいい甘草?

カンゾウ

Glycyrrhiza

GLYCYRRHIZAE RADIX

世故

本品は Glycyrrhiza uralensis Fischer 又は Glycyrrhiza glabra Linné (Leguminosae)の根及びストロンで、ときに は周皮を除いたもの(放去) カンソウ)である。

本品は定量するとき、機算した生薬の乾燥物に対し、グリ チルリチン酸(C₁:HasO₁₈: 822.93) 2.0%以上を含む.

生業の住状 本品はほぼ円柱形を呈し、径0.5~3 cm、長さ1 m以上に及ぶ、外面は暗褐色~赤褐色で縦じわがあり、しば しば皮目、小事及び鱗片葉を付ける。固皮を除いたものは外 面が被黄色で繊維性である。横切面では、皮部と木部の境界 がほぼ明らかで、放射状の構造を現し、しばしば放射状に裂 け目がある。ストロンに基づくものでは鱈を認めるが、根に 基づくものではこれを罷めない。

本品は弱いにおいがあり、味は甘い、

本品の横切片を鏡検 (5.0) するとき、黄陽色の多細胞層のコルク層とその内側に1 ~ 3細胞層のコルク皮層がある。 二次皮層には放射組織が師部と交互に放射状に配列し、師師には厚壁で木化不十分な師部繊維群があり。その周囲に結晶細胞が認められる。馬皮を除いたものでは二次皮層の一部を欠くものがある。本部には黄色で巨大な道管の列と3 ~ 10 細胞列の放射組織が交互に放射状に配列する。道管は結晶細胞で固まれた木部繊維及び木部柔細胞を伴う。ストロンに基づめでは未細胞性の髄がある。素細胞はでんぷん枚を含み、また。しばしばシェウ酸カルシウムの単晶を含む。一般切片の鏡検 (5.0) では、肺部繊維の周辺の結晶

SHOWA UNIVERSITY

有効性



担保されていない 🔷 安定性により担保される?

SHOWA University

生薬の品質とは

日本では1971年 に農薬の登録か ら外れている

メーカーに依存

ニンジン

GINSENG RADIX

これに噴霧用バニリン・硫酸・エタノール試液を均等に 噴霧し、105℃で10分間加熱するとき、試料溶液から得た 数個のスポットのうち1個のスポットは、標準溶液から得た スポットと色調及びRr値が等しい.

純度試験

- (1) 重金属 (1.07) 本品の粉末1.0 gをとり、第4法によ り操作し、試験を行う. 比較液には鉛標準液1.5 mLを加え る(15 ppm以下).
- (2) ヒ素 (1.11) 本品の粉末1.0 gをとり, 第4法により 検液を調製し、試験を行う(2 ppm以下).
- (3) 異物 (5.01) 本品は茎及びその他の異物2.0%以上を 含まない.
- (4) 総BHCの量及び総DDTの量 (5.01) 各々0.2 ppm以

乾燥減量 (5.01) 14.0%以下(6時間).

灰分 (5.01) 4.2%以下.

エキス含量 (5.01) 希エタノールエキス 14.0%以上. 定量法

(1) ギンセノシドRg1 本品の粉末約1gを精密に量り、共 栓遠心沈殿管にとり、薄めたメタノール(3→5) 30 mLを加 えて15分間振り混ぜた後、遠心分離し、上澄液を分取する. 残留物に薄めたメタノール(3→5) 15 mLを加えて同様に操

安定性

局方による担保 **メ**ーカーに依存

有効性

担保されていない

安全性

メーカーに依存

SHOWA University

生薬の品質

生薬の品質担保はメーカーに委ね られているところが大きい

輸入生薬の安全性が局方で確保さ れているとは言いがたい



臨床の質を高める

SHOWA University

問題点

- ◈生薬の品質が漢方薬の品質につながる
- ◈メーカーに委ねられている生薬の品質

方法

- ◆生薬の品質が漢方薬の品質につながる
- ◈メーカーに委ねられている生薬の品質



医療者側が生薬を意識して処方を使う



生薬の品質に対する意識向上へ

ーカーからの情報取得 トレーサビリティの確立)

国産生薬生産

第三者による品質管理

SHOWA University

国産生薬生産

- ◈ 安全性の担保が可能
- ♦ トレーサビリティーが容易
- ◈ 品質向上への可能性
- ◈ 世界情勢に影響されない
- ♦ 「国産 Iというブランド

- ◈ 気候風土の問題
- ◆ 人手不足(牛産者の高齢化)
- ◈「薬価」の問題
- ◈ 安定的な生産体制の確立
- ◆ 生育期間



より品質のいい漢方治療を提供したい





国産生薬栽培に向けて

SHOWA University

ゴミシ

Schisandra Fruit

SCHISANDRAE FRUCTUS

第十八改正日本薬局方

五味子

本品はチョウセンゴミシ Schisandra chinensis Baillon (Schisandraceae)の果実である。

生薬の性状 本品は不規則な球形へ扁球形を呈し、径約6 mm である。外面は暗赤色〜黒褐色でしわがあり、また、ときに 白い粉を付ける。種子は腎臓形を呈し、外面は黄褐色〜暗赤 褐色で、艶があり、背面に明らかな背線を認める。外種皮は たやすく剝がれるが、内種皮は胚乳に密着する。

本品は弱いにおい及び酸味があり、後に強くて苦い、

確認試験 本品の粉末1.0 gにメタノール10 mLを加えて水浴上で3分間振り混ぜながら加温し、冷後、ろ過し、ろ液を試料溶液とする。別に薄層クロマトグラフィー用シザンドリン1 mgをメタノール1 mLに溶かし、標準溶液とする。これらの液につき、薄層クロマトグラフィー (2.03) により試験を行う、試料溶液及び標準溶液5 pLずつを薄層クロマトグラフィー用シリカゲル(蛍光剤入り)を用いて調製した薄層板にスポットする。次に酢酸エチル/ヘキサン/酢酸(100)混液(10:10:1)を異隅溶媒として約7 cm異隅した後、薄層板を風載する。これに紫外線(主波長254 nm)を照射するとき、試料溶液から得た数個のスポットのうち1個のスポットは、標準溶液から得たな個のスポットのうち1個のスポットは、標準溶液から得たスポットと色調及びR値が等しい。

純度試験 異物 (5.01) 本品は果床、果柄及びその他の異物 1.0%以上を含まない。

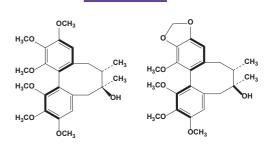
灰分 (5.01) 5.0%以下. 貯法 容器 密閉容器.

有機酸類

リンゴ酸 クエン酸 酒石酸 など



リグナン類



シザンドリン

ゴミシンA



SHOWA University

中国での栽培事情

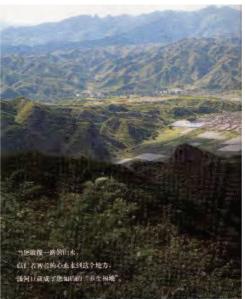
~湯河口鎮~

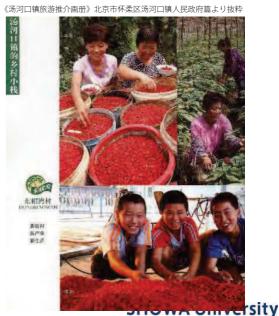


湯河口鎮

平均気温 平均降水量 夏期 23.1℃ 98.6 mm 冬季 -6.6℃ 2.3 mm

© Google map







作付面積: 73,370 ㎡ (うち53,360㎡を鄭氏が所有)

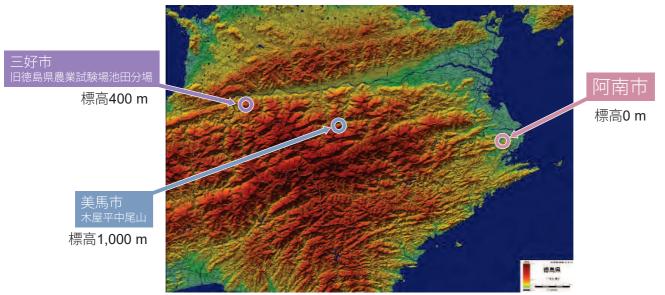
- ① 苗木:遼寧省新賓県より2008年春に購入。 当時0.35元/株(当時の1元=13-15円)
- ② 作付密度:畝幅1.4m, 株間30cm, 毎畝 1,100株 (1畝 = 667平米)
- ③ 支柱高度:2.3m, 畝は南北方向
- ④ 施肥:春または秋に鶏糞,成長が盛んな時期には窒素,燐酸アンモンと尿素
- ⑤ 灌水:適宜灌水し土壌が乾かないようにする (五味子は高湿を好み、根は浅い)
- ⑥ 収穫時期:毎年9月下旬から10月
- ⑦ 剪定:毎年春秋に基部から出る枝を切り, 主枝を2-3本にする
- 収穫量:播種後3年目に結実し、4年目と5年目に最も結実量が多くなる。最盛期の産出量は生の果実で750kg、乾燥重量で150kg(1畝)
- ⑨ 病虫害:東北地方では虫害が見られるようだが湯河口鎮にはまだ発生がない
- ⑩ 市場価格の動向:鄭氏(ここの所有者)は 去年、東北から来た問屋に45元(約650 円)/kgで販売,多くは日本と韓国に輸出さ れているとのこと。
- ⑪ 加工方法:一般的な方法としては少し陰干しをした後、果実を手でもみほぐす。すると糖分が多く比較的油分のある五味子ができる。その他、陰干しするだけもあるが、こうすると比較的乾燥した湿りの少ない五味子ができる。







徳島県での栽培



国土地理院ウェブサイト (https://www.gsi.go.jp/common/000184367.jpg) より

三好市池田分場





2013.6.13













University



University







美馬市木屋平 (中尾山)





2016.5.13



SHOWA University



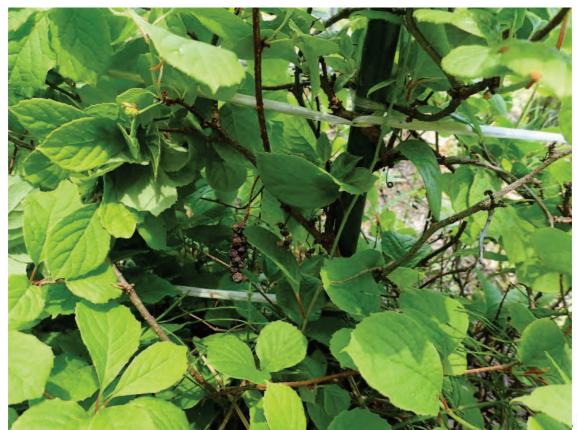
SHOWA University



SHOWA University



University



University

房ごとのデータ(果柄・果床込み)

粒数 個	N	平均	標準偏差
三好市	19	27.3	9.55
美馬市	14	30.9	8.80

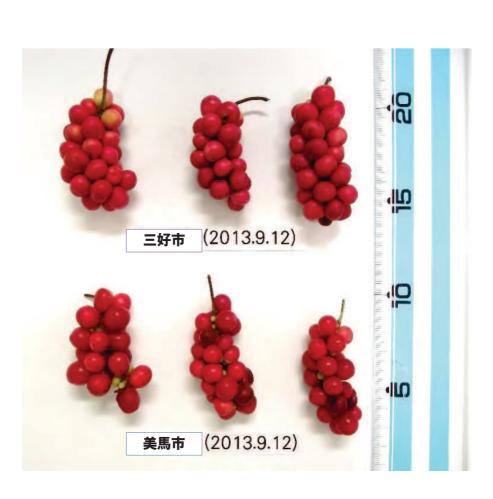
Student's t-test n.s.

重量 g	N	平均	標準偏差
三好市	19	18.4	6.43
美馬市	14	12.0	3.41

Student's t-test P<0.01

乾燥減量(60℃, 3日 果実のみ)

	%
三好市	19.5
美馬市	20.8



-般社団法人日本東洋医学会での取り組み

生薬原料委員会

臨床の立場から生薬とその原料植物について発信・提言

委 員 長:有田龍太郎 (東北大学医学部)

副委員長:伊藤美千穂(国立医薬品食品衛生研究所生薬部)

担当理事:川添和義 (昭和大学薬学部) 員:渥美聡孝

(九州保健福祉大学) (千葉大学環境健康フィールド科学センター) 池上文雄

高浦佳代子(近畿大学 薬学部)

山岡傳一郎 (一般財団法人創精会 松山記念病院 精神科)

山中章好 (百合が丘クリニック)

吉野鉄大 (慶應義塾大学 医学部 漢方医学センター)

(株式会社ウチダ和漢薬 新潟工場 薬事品質保証部)

栃本久美子 (株式会社栃本天海堂)

SHOWA University

生薬原料委員会の提言と取り組み

国産生薬についての提言

- ◆ エキス剤がほとんどである昨今、煎じを出したことがない、薬用植物・生薬に触れたこと がない医師が多いことから、生薬に対する関心を高めることが重要
- ◆ 生薬と処方の関係を今一度認識し、生薬品質の重要性を知ることで国産生薬に対 する関心が高まると考える
- ◆ 国産生薬栽培の振興のためにも、使用者側(医師)からのニーズを示す必要がある。

委員会としての取り組み

- ⊗ 国内での生薬栽培地への見学
- ◆ 学術集会での生薬に関する教育講演、標本展示など
- ♦ 一般社団法人日本生薬学会との連携で、薬用植物観察や学会でのコラボ企画